令和７年度

中小企業技術者研修

化学分析技術研修
受 講 案 内

期　間　令和７年１１月～令和８年２月

〈特　色〉

高品質な製品を作るには開発、生産の要所で対象物の的確な評価がなされることが必要です。

分析技術、なかでも機器分析法は種々の場面で重要な評価手段となるもので、“ものづくり”に関わる技術者にとって大切な素養の一つです。

これらの基礎を、実習を交えることにより正しく理解し、さらに応用的な知識も深められるような内容に編成されています。

主　催　名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

申込はこちら

https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/lecture.html

《募 集 要 項》

研修期間と時間　令和 7 年 11 月 7 日～令和 8 年 2 月 13 日
（12 月 26 日、1 月 2 日、1 月 9 日はお休み）
原則として毎週金曜日　9 時 30 分～16 時 30 分（昼 1 時間休憩）
（11 月 7 日(金)は、13 時 30 分～16 時 30 分）
講義・実習　計 69 時間

研 修 会 場　名古屋市工業研究所　名古屋市熱田区六番三丁目 4-41

募 集 人 員　定員 10 名

受 講 料　60,500 円（税込）

修 了 証 書　所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。

申 込 方 法　https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word 文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。
※大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、順次受講の可否のご連絡をいたします。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。

申 込 先　〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人　名古屋産業振興公社　ものづくり人材育成課
電話〈052〉654-1653　FAX〈052〉661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp

募集締切日　令和 7 年 10 月 24 日(金) 17 時必着

受講料の納入　受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込みをご予定ください。

そ の 他　・納入された受講料の払戻しはいたしません。
・講義日程等は変更することがあります。
・研修中の事故については、一切責任を負いません。
・本研修を受講された受講者の事業主に対して、要件を満たす場合、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

助成金制度の詳細やお問合わせ先
厚生労働省愛知労働局　あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

日付	時間	科目	講師	主な内容
11/7 （金）	3	化学の基礎	名古屋市工業研究所 職　員	研修を受講するにあたり、身につけて欲しい化学の基礎について概説
11/14 11/21 （金）	6	吸光光度分析 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	吸光光度分析の基礎理論と応用
	6	走査電子顕微鏡観察 講義と実習		走査電子顕微鏡観察の基礎と応用
11/28 12/5 （金）	6	ICP発光分光分析 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	ICP（誘導結合プラズマ）発光分光分析法の基礎理論と応用
	6	X線回折 講義と実習		Ｘ線分析の基礎とＸ線回折法の応用
12/12 12/19 （金）	6	蛍光X線分析 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	蛍光Ｘ線分析法の原理、装置、応用
	6	走査電子顕微鏡分析 講義と実習		走査電子顕微鏡観察の基礎と応用
1/16 1/23 （金）	6	液体クロマトグラフィー 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	液体クロマトグラフィーの原理と応用
	6	熱分析 講義と実習		熱分析の基本操作とデータの解析法

日付	時間	科目	講師	主な内容
1/30 2/6 (金)	6	有機定性分析 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	赤外分光法とガスクロマト法を用いた有機定性分析
	6	ESCA 講義と実習		ESCA（X線光電子分光法）の基礎理論と応用
2/13 (金)	6	有機分析概説	名古屋市工業研究所 職　員	有機物の分析法について機器分析を中心にして概説
		無機分析概説		化学分析と分析値の信頼性について概説

＿＿＿年度　中小企業技術者研修【＿＿＿＿＿技術研修】受講申込書　令和　年　月　日

社　名	（ふりがな）	代表取締役 ないしは それに準ずる 者	
本　社 所在地	〒		
	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
資本金	万円	従業員数	名
業　種 （下記一覧より記載）		主要製品	

受　講　者			
氏　　名	（ふりがな）	所属・役職	
勤 務 地	〒		
連 絡 先	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
	E-mail:		
担当業務			
本研修で学びたい事	受講の目的や今回特に学びたい事等ご記入ください。		

連絡責任者			
氏　　名	（ふりがな）	所属・役職	
請 求 書 送 付 先	〒		
連 絡 先	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
	E-mail:		
この研修を何でお知りになりましたか？			

（業種分類一覧）

0001	食料品製造業	0012	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	輸送用機械器具製造業	0034	学術研究，専門・技術サービス業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0013	窯業・土石製品製造業	0024	その他製造業	0035	宿泊業，飲食サービス業
0003	繊維工業	0014	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0036	生活関連サービス業，娯楽業
0004	木材・木製品製造業(家具を除く)	0015	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0037	教育，学習支援業
0005	家具・装備品製造業	0016	金属製品製造業	0027	建設業	0038	医療，福祉
0006	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	はん用機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0039	複合サービス事業
0007	印刷・同関連業	0018	生産用機械器具製造業	0029	情報通信業	0040	サービス業（他に分類されないもの）
0008	化学工業	0019	業務用機械器具製造業	0030	運輸業	0041	公務（他に分類されるものを除く）
0009	石油製品・石炭製品製造業	0020	電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031	卸売・小売業	0042	分類不能の産業
0010	プラスチック製品製造業	0021	電気機械器具製造業	0032	金融・保険業		
0011	ゴム製品製造業	0022	情報通信機械器具製造業	0033	不動産業・物品賃貸		

※申込書受領後、e-mail、もしくはお電話にて確認の連絡をいたします。連絡がない場合は、お手数ですが（公財）名古屋産業振興公社 052-654-1653 までご連絡ください。
※ご記入いただきました個人情報は、受講者または連絡責任者への連絡や、名古屋市工業研究所及び当公社が開催する研修の案内など、研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。
※暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。